

# ～船の役割、船員の仕事について学ぼう～ 中学生向けフェリー船内見学会・海事講座の開催

令和6年11月1日（金）、旭川運輸支局は関係団体と協力し、稚内市立宗谷中学校1年生11人を対象に、「フェリー船内見学会・海事講座」を開催しました。

四面を海に囲まれた私たちの暮らしは、船によって支えられていますが、船を動かす船員の高齢化が進み、将来的な船員不足が心配されることから、進路について考え始める中学生を対象に、実際に稚内～利礼航路に就航しているカーフェリーの船内見学会を実施し、船員という職業への興味・関心を喚起するものです。

実は、宗谷中学校は、地元の宗谷漁業協同組合と連携し、水産学習を柱に「産業教育」に力を入れている学校です。さらに今回参加の生徒のご家庭は全て漁業に従事しており、海や船は身近なのです。そんな生徒達に漁師以外の船員という職業を学んで欲しいと思いました。



さて、最初は海事講座です。旭川運輸支局職員から、「知ってますか？みんなの暮らしに必要な船と船員のこと」と題して、海運の重要性と船員という職業の魅力やキャリアパスを紹介しました。

次にハートランドフェリー（株）職員による稚内～利礼航路と就航船舶、実際の船員の仕事ぶりについて紹介してもらいました。

特に、船員の給料が陸上よりも高いという部分には、みんな興味津々の様子です。



講座終了後は、岸壁に停泊しているアマポーラ宗谷（4265トン）に移動し、船内見学です。

船に乗り込んだ生徒達は、客室では特別室から一等客室「アイランドビューシート」まで、船員区画では食堂から船橋、機関室まで見学しました。アイランドビューシートでは、フカフカのシートに座って楽しそうにはしゃいだり、船橋や機関室では様々な機器等の説明を受けて関心しきりの様子でした。

後日学校からいただいた学級通信では「フェリーの仕事が将来の選択肢に入った！」という生徒の声があったと紹介されました。今回の事業により、船員という職業に関心を持って貰えたら何よりです。

そして、本当に将来船員になる人材が現れることを期待しています。

## ▼ 参加児童の感想 ▼

- 人生でぜったいに行けなさそうな場所に行けて、良い思い出になりました。
- もっとみてみたいと思った。エンジンの場所が面白かった
- 人生で初めてのフェリー学習でいろいろな場所を知った
- フェリー見学が初めて知ることがあったので勉強になりました
- 操じゅう室や機械室が印象に残った。初めて知ることが分かった
- エンジンのところが色々なパイプとかがあって凄いなと思った。質問を分かりやすく答えてくれた
- 普段行けないような場所なども行けて、知らなかった事も沢山あって楽しく知識になった。そうじゅうする所のレバーやボタンなどがあって覚えるのがとても大変だと思った。ごうかな客席もあって、とても乗りたいと思った！！



## ▼ 宗谷中学校先生からのコメント ▼

フェリーの普段見られない場所が見られて良かった

映像がたくさん使われていて分かりやすいと感じました。

造船の時の映像資料があれば面白いと思いました。







記念撮影